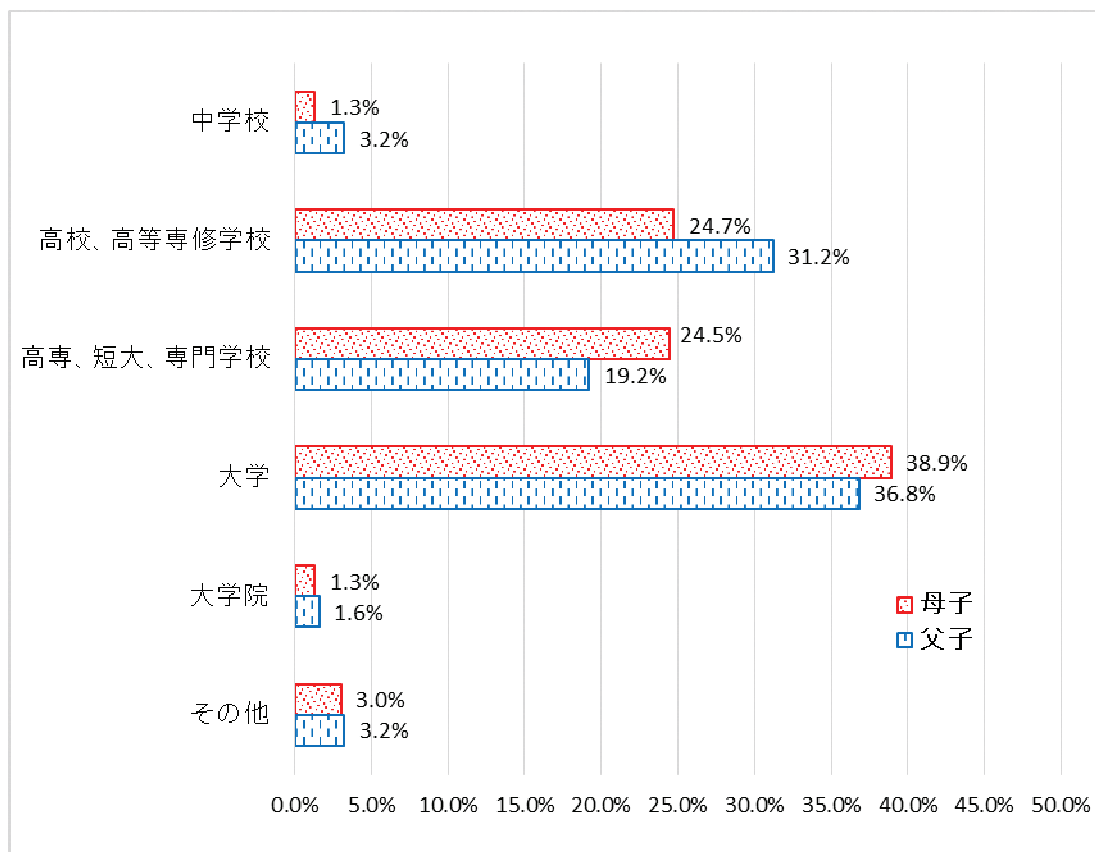


IV. 子育ての状況

1 子どもの進路 (問23)

高校生までの子の進学先としてどこまでを考えているかについて、母子世帯は「大学」が最多で38.9%、次いで「高等学校、高等専修学校」が24.7%、「高等専門学校、短期大学、専門学校」が24.5%となっている。

父子世帯は「大学」が最多で36.8%、次いで「高等学校、高等専修学校」が31.2%、「高等専門学校、短期大学、専門学校」が19.2%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
中学校	23	1.3%	4	3.2%	27	1.5%
高等学校、高等専修学校	444	24.7%	39	31.2%	483	26.8%
高等専門学校 短期大学、専門学校	439	24.5%	24	19.2%	463	25.7%
大学	698	38.9%	46	36.8%	744	41.3%
大学院	23	1.3%	2	1.6%	25	1.4%
その他	54	3.0%	4	3.2%	58	3.2%
総数	1794	100.0%	125	100.0%	1,800	100.0%

※無回答 (母子113、父子6) を除いた子どもの数で算定

2 子どもの学習塾への通塾状況（問24）

（1）子どもの学習塾への通塾の有無

小学生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が18.3%、「通わせていない」が78.4%となっている。父子世帯は「通わせている」が10.6%、「通わせていない」が89.4%となっている。

中学生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が35.1%、「通わせていない」が61.2%となっている。父子世帯は「通わせている」が37.1%、「通わせていない」が54.3%となっている。

高校生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が13.4%、「通わせていない」が82.8%となっている。父子世帯は「通わせている」が6.3%、「通わせていない」が81.3%となっている。

〔母子世帯〕

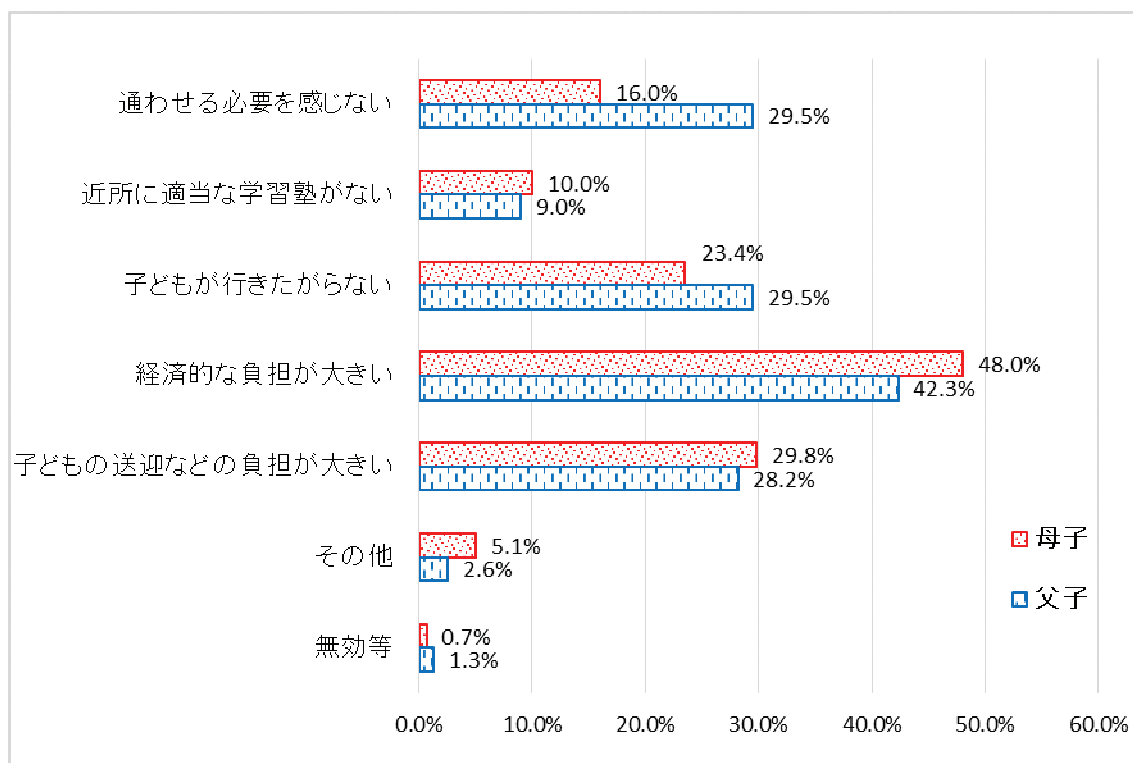
区分	子どもの数	通塾している子の数		通塾していない子の数		無効等	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
小学生	693	127	18.3%	543	78.4%	23	3.3%
中学生	410	144	35.1%	251	61.2%	15	3.7%
高校生	396	53	13.4%	328	82.8%	15	3.8%

〔父子世帯〕

区分	子どもの数	通塾している子の数		通塾していない子の数		無効等	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
小学生	47	5	10.6%	42	89.4%	0	0.0%
中学生	35	13	37.1%	19	54.3%	3	8.6%
高校生	32	2	6.3%	26	81.3%	4	12.5%

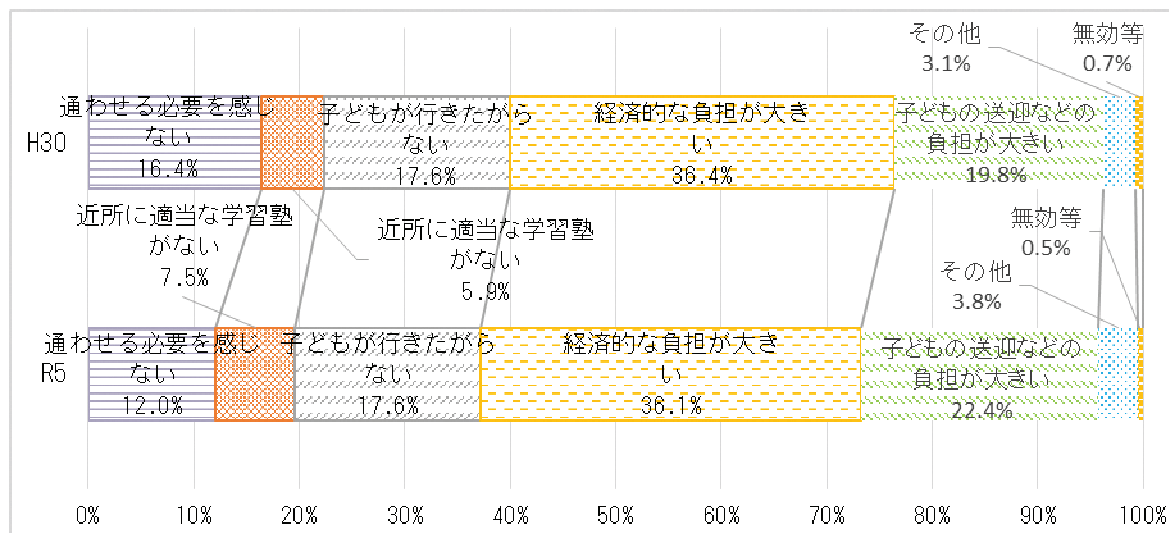
(2) 学習塾へ通わせていない理由 (問25)

学習塾へ通わせていない理由として、母子世帯、父子世帯とも「経済的な負担が大きい」が最も多く、母子世帯で48.0%、父子世帯で42.3%となっている。次いで母子世帯では「子どもの送迎などの負担が大きい」が多く、29.8%、父子世帯では「通わせる必要を感じない」、「子どもが行きたがらない」が多く、29.5%となっている。

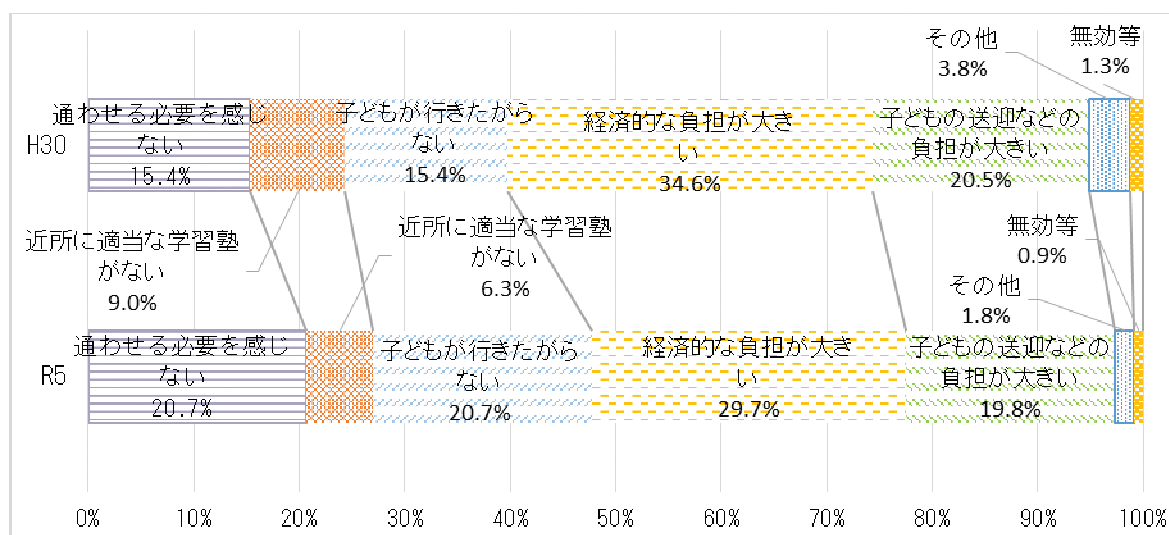


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
通わせる必要を感じない	187	16.0%	23	29.5%	210	16.9%
近所に適当な学習塾がない	117	10.0%	7	9.0%	124	10.0%
子どもが行きたがらない	273	23.4%	23	29.5%	296	23.8%
経済的な負担が大きい	560	48.0%	33	42.3%	593	47.7%
子どもの送迎などの負担が大きい	348	29.8%	22	28.2%	370	29.7%
その他	59	5.1%	2	2.6%	61	4.9%
無効等	8	0.7%	1	1.3%	9	0.7%
回答者数	1166	—	78	—	1244	—

今回調査と前回調査の構成比の推移
〔母子世帯〕

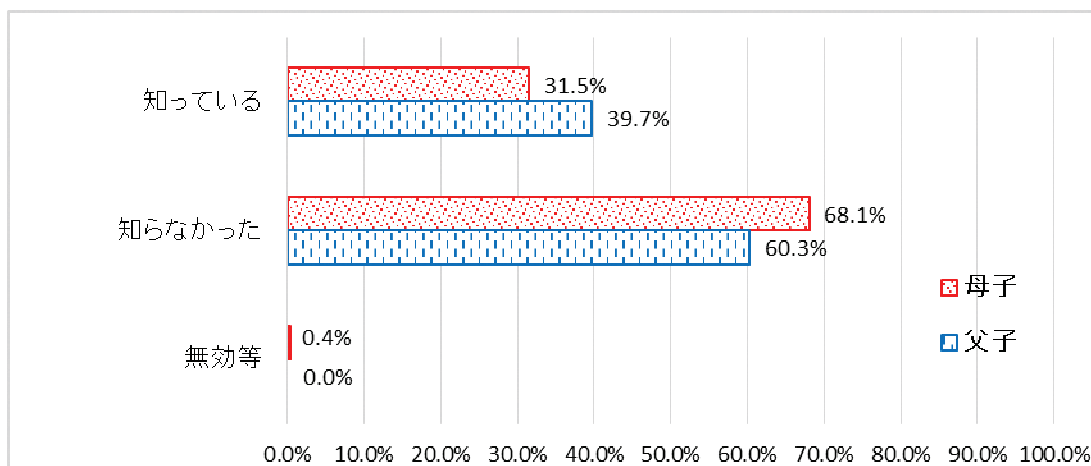


〔父子世帯〕



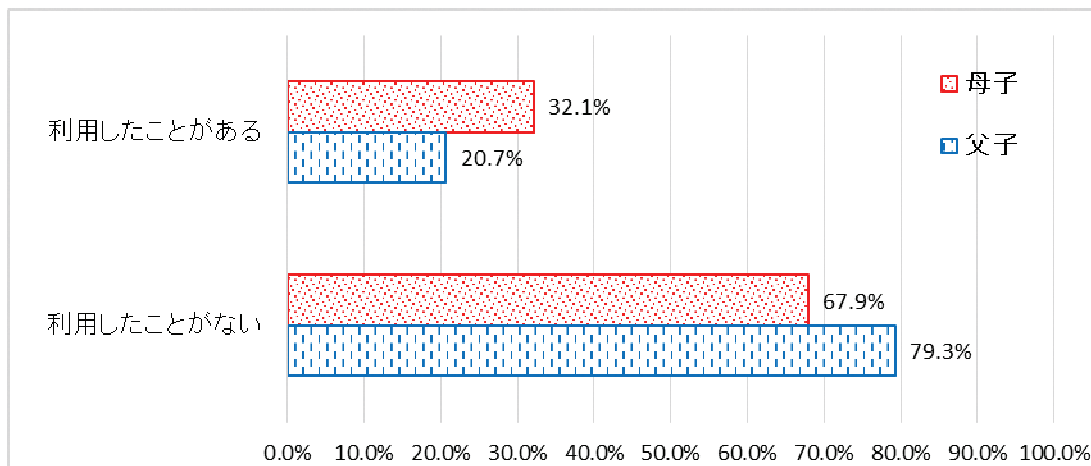
(3) 市町村の学習支援事業の認知・利用状況（問26、問27、問27-2）

県内のほとんどの市町村で公民館等の公共施設を使った無料の学習支援事業を行っていることについて、母子世帯は「知っている」が31.5%、「知らなかった」が68.1%となっている。父子世帯は「知っている」が39.7%、「知らなかった」が60.3%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
知っている	318	31.5%	29	39.7%	347	32.1%
知らない	686	68.1%	44	60.3%	730	67.5%
無効等	4	0.4%	0	0.0%	4	0.4%
総計	1008	100.0%	73	100.0%	1081	100.0%

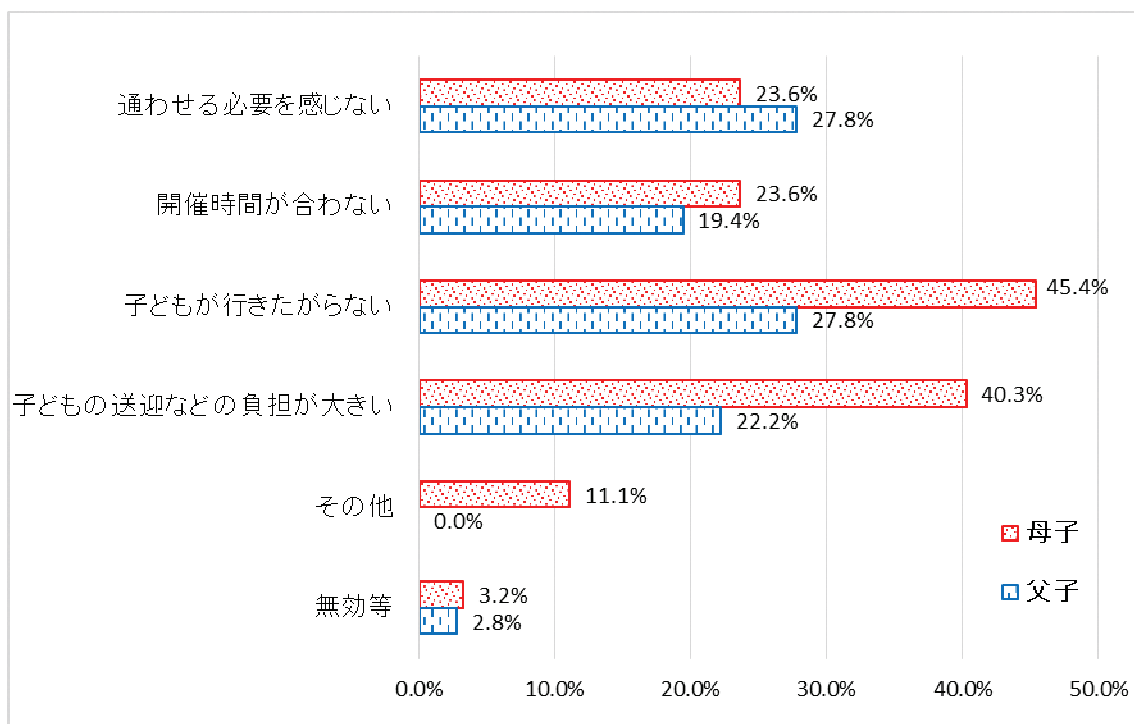
県内のほとんどの市町村で学習支援事業を行っていることを知っていたひとり親のうち、事業を「利用したことがある」と答えたのは、母子世帯で32.1%、父子世帯で20.7%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用したことがある	102	32.1%	6	20.7%	108	31.1%
利用したことはない	216	67.9%	23	79.3%	239	68.9%
総計	318	100.0%	29	100.0%	347	100.0%

市町村の学習支援事業について知っているひとり親が事業を利用したことがない理由として、母子世帯では「子どもが行きたがらない」が最多で45.4%、次いで「子どもの送迎などの負担が大きい」が40.3%、「通わせる必要を感じない」、「開催時間が合わない」が23.6%となっている。

父子世帯では「通わせる必要を感じない」、「子どもが行きたがらない」が最多で27.8%、次いで「子どもの送迎などの負担が大きい」が22.2%、「開催時間が合わない」が19.4%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
通わせる必要を感じない	51	23.6%	10	43.5%	61	25.5%
開催時間が合わない	51	23.6%	7	30.4%	58	24.3%
子どもが行きたがらない	98	45.4%	10	43.5%	108	45.2%
子どもの送迎などの負担が大きい	87	40.3%	8	34.8%	95	39.7%
その他	24	11.1%	0	0.0%	24	10.0%
無効等	7	3.2%	1	4.3%	8	3.3%
回答者数	216	—	23	—	239	—